

委員長報告に対する質疑・討論

総務文教、厚生、産業、建設水道委員会の各常任委員長から、九月議会に提案された各付託議案の審査結果の報告が行われ、委員長報告に対する質疑・討論が行われました。これは、各議員及び会派が、どのような内容の施策に、どのような理由で賛成し、反対するかを明らかにするものです。九月議会では四人が質疑・討論を行いました。その要旨を紹介します。

質疑

新風会 森岡和雄

質問 ↓ 議案第三十三号東小学校改築工事請負契約についての委員長報告について、市民から、実名入りで「新たな談合情報」が、市長・議長に寄せられているが、委員会として談合情報について、どのように論議をしたのか。そして、新たな情報を再度審査する必要があるのではないか。

答弁 ↓ 全員協議会が終わった後、本日再度委員会を開き、慎重に論議を重ねたが、以前当局に寄せられた「情報」と比較して、「新たな情報」ということでもなく、再度「委員会としては可決」となった。

討論

新風会 松本義隆

議案第三十三号東小学校改築工事請負契約について、談合・不当圧力があった旨を当局に申し入れをしている者がいるが、入札には十二社中二社のみ参加しているのは不自然であり、反対する。他の議案については賛成。

市民と歩む会 黒見節子

学校給食を、直営から民間委託にした戸島学校食育センターの民間委託の成果と課題、委託料、三センターの歴史的役割、食材購入、給食費等検討が必要。拙速に進められる民間委託事業に反対する。

秋久憲司

給食センター業務委託の予算は、今までの経過について、十分な議論がないまま進めており反対。東小学校の工事請負契約は、談合情報など市民感情からは釈然としな。慎重な継続調査を求める。

平成二十一年度各会計決算議案の質疑について

平成二十一年度の各会計決算議案二十一件が上程され、九月二十八日（火）の本会議で決算質疑が行われた後、それぞれ各常任委員会に付託されました。主な議案は左記のとおりです。（左記の議案名は「平成二十一年度」を省略しています。）

- 議案第三十七号 津山市一般会計歳入歳出決算
- 議案第四十号 津山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 議案第四十二号 津山市下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 議案第四十六号 津山市介護保険特別会計歳入歳出決算
- 議案第四十九号 津山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 議案第五十六号 津山市水道事業会計決算

健康づくりが重要課題に

日本共産党津山市議団 久永良一

質問 ↓ 国保会計が昨年度赤字となった。国保会計は、国の負担削減、医療費の増加、経済不況の影響で、厳しい状況。根本的な改善方向は、国の負担を元に戻すことと、健康づくりによる医療費増加の抑制である。健康づくりの取り組みが医療費に現れるような方法が必要だ。

答弁 ↓ 健康診断受診率向上に一層の取り組みを行う。

新クリーンセンター建設予定地を

市長選挙前に購入はおかしい

日本共産党津山市議団 末永弘之

質問 ↓ 平成二十一年度は、結果として前市長の「最後の決算年度」となり、前市長の「政治姿勢を振り返る」ことになるが、新クリーンセンター建設予定地を市長選挙直前に購入したこと、市長退職金については、議会で「半額にすべき」という提案が否決されたために満額の約二千二百万円を受け取っているが、おかしい政治ではないのか、「ゆがみ」があるのではないか。

答弁 ↓ 新クリーンセンターの土地買収は、一部事務組合の議会の議決により購入したもの。市長退職金は条例に基づいて支給した。